

授業科目名	地域包括ケアシステム論		担当教員	◎栗栖千幸、田中美恵子、岡本明美、久保幸代、川上裕子、吉野妙子、松丸直美	科目ナンバリング NM162
必修	開講年次：1年後期	単位：2単位	授業形態：講義30時間		

【授業概要】

地域包括ケアの概念と様々なライフサイクル、健康レベルにある人々の地域における健康支援、サービス提供のシステムを学ぶ。さらに医療施設のみにとどまらず地域で生活する多様な人々を対象とした看護の他職種や患者・家族に対する役割を学び、さらに地域包括システム全体の理解を深め、保健医療と看護についての包括的な視野を得る。

【達成目標】

1. 地域包括の概念について理解できる。
2. さまざまなライフサイクル、健康レベルにある人々の地域における健康支援、サービス提供のシステムについて理解できる。
3. 医療施設のみにとどまらず地域で生活する多様な人々を対象とした看護の多職種や患者・家族に対する役割について理解する。
4. 地域包括ケアにおける多様な専門職および地域の人々との連携協働し活動する看護の役割について学ぶ。
5. 地域包括ケアの取り組みの実際を知る。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

[01] 地域包括ケアシステムの背景と概要	(栗栖)
[02] 『学生自身の日常生活を「生活者」の視点で振り返る』課題1	(栗栖)
[03] 地域での生活を支える保健医療福祉サービス	(栗栖)
[04] 『事例を通して生活を支えるサービス内容を記述する』課題2	(栗栖)
[05] 地域包括ケアと多職種連携のシステム	(栗栖)
[06] 『事例のケア内容からケアの担い手と自助・互助・共助・公助を分類する』課題3	(栗栖)
[07] 在宅療養を支える地域ケアシステム	(栗栖)
[08] 地域包括ケアシステムにおける看護の役割	(栗栖)
[09] 『事例の地域生活を支える地域ケアマップを作成する』演習：課題4	(栗栖)
[10] 地域包括ケアの実際(高齢者)	(川上)
[11] 地域包括ケアの実際(子育て世代)	(久保)
[12] 地域包括ケアの実際(緩和ケア)	(岡本)
[13] 地域包括ケアの実際(小児)	(吉野)
[14] 地域包括ケアの実際(精神保健)	(田中・松丸)
[15] 住み慣れた地域での暮らしの実現に向けて	(栗栖)

【教科書】

関永信子編著(2021)：地域包括ケアシステムの基本的理解と実践，翔雲社。

【参考書】

特に指定しない。毎回の授業で資料を配布する。

【評価方法・評価基準】

テスト60% 課題レポート30% 授業への参加・取り組み状況10%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業内で提示された事前学習を記述する。

事後学習：授業の学習内容の復習と課題の記述を行う。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅳ．ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートについてフィードバックし、学びを深められるようにする。

【備考】

- 1 回目の授業で受講にあたっての注意点を確認する。必ず出席をすること。